

講義Ⅱ 「困っている」子どもの集団における支援の実際

植草学園短期大学 佐藤慎二

1. 「気になる」子ども、発達障害等のある子どもを包み込む保育の支援原則

講義1で確認した「一文一動詞」の指示(例)は

「気になる」子ども・発達障害等のある子どもには「ないと困る支援」

同時に、どの子どもにも「あると便利で・役に立つ支援」である！

☆集団の中で展開する際の原則と方向性・ユニバーサルデザイン☆

- ① 発達障害等の配慮を要する子どもには“ないと困る支援”であり
- ② どの子どもにも“あると便利で・役に立つ支援”を増やす
- ③ その結果として、どの子どもにも過ごしやすく・分かりやすい環境を整える。

2. 子どもの話を聞く！「本音の思い」を大切にする！

- ①子どもの話を聞く・思いに寄り添う重要性—客観的な行動だけで「本音」を評価してはいけない！—
- ②問題行動を一番何とかしたい！と思っているのは、その子ども本人である！
- ③努力してもできないことを叱るとしたら… *ブロークン(壊れた)レコード法=負けない・譲らない指導法
=・「座るよ」等と肯定表現で伝え、しばらく、様子を見てまだ立ち歩きがある場合、もう一度、「座るよ」と伝える…何回か繰り返す→お互いの感情をいらだてない+「立ち歩き」は許さないことを全体に示す
- ④何に注目するのか？—着席状態に注目する=いい状態に注目して・いい状態を増やす逆転の発想！

3. 問題行動を叱って減らすのではなく・問題を起こしていない状態をほめて増やす逆転の発想へ！

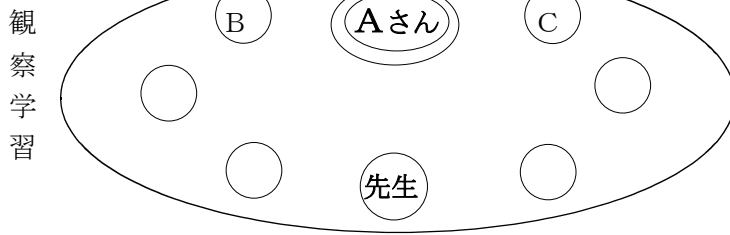
- ①叱り方を変える！※「障害」を叱っても治らない！
- ②できている行動への注目を増やす！→じっとしていられな子は、じっとしている姿が「いい行動」←ほめる！
→乱暴な子どもは友達と普通にかかわっている姿をほめる！
- ③逆転の発想で魔法の言葉を！—問題行動は叱っても減らない！
☆問題行動とは逆の行動に注目して、逆の行動を徹底してほめる！上にある二つの例
- ④安心感！困った顔ができる！困っても大丈夫！助けてもらえる！—「助けて—」と言える子どもに！

ミニネタ「動物あいさつ」

4. どの子どもも自分を見てほしい！－徹底した『いいところ応援！』－

☆周りのまじめな子どもへの注目を増やす！ほめる！→周りの子どもは配慮を要する子どものお手本

お手本になる子どもをたくさん育てる！



ルール・約束は
それを守る子どもをほめるためにある！

☆静けさを呼び込むミニネタを増やす！－「お笑いカード」「動くハンカチ」「ゲラゲラハンカチ」

5. 視覚的手がかりの活用－目は口ほどにものを言う－

ミニネタ「おちたおちた」

「書かれたもの(視覚情報)が第一言語、話し言葉は第二言語」

→「視覚情報」＝発達障害の子どもに「ないと困る支援」の象徴＋どの子にも「あるとありがたい支援」

6. 聞く活動は難しい！－話し言葉を見直す

①具体的に－「たくさん」「ちょっとだけ」等の抽象語ではなく、「あと3つ」「時計の針が2まで」等。

②話し言葉を削る＋一文一動詞＋話し言葉は消えてなくなるのでポイントはできるだけ「見える化」
＋それが難しいときは「二つ話します」のように話の終点を示す！

③ “Iメッセージ” と “YOUメッセージ”

○YOU:「しんちゃん！がんばったね！すごいね！」

○ I :「しんちゃん！先生はがんばるしんちゃんのが大好きだよ！」

○YOU:「しんちゃん！どうして勝手にいなくなっちゃうの！何してたの！」

○ I :「しんちゃん！いなくて心配してたよ！いないときみしいよ！」

手遊び「カミナリドンがやってきた！」 *YouTube

7. 子どもをほめるために約束する！ -子どもと約束するポイント-

①問題行動を減らすために約束しない！ - 「～しない」「～してはいけない」という約束はNG

②問題行動とは逆の行動を増やすために約束する！ - 「～する」「～しようね」という約束で。

③その際、すでにできること・できそうなことで約束する！ → 結果として、“ほめる機会” 増やす

☆ほめ言葉5 S =

暴言を減らそうとしたら、温かな言葉を増やすという逆転の発想が必要になる！

8. 動きを大切に！

ミニネタ「リスム肩叩き」

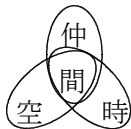
☆多動性の強い子どもは「動くのが得意な子ども」とポジティブに理解する必要がある！

→ 「動ける時間」(含：手遊び等)は、多動性の強い子どもに「ないと困る支援」

同時に、私たち大人も・周りのどの子どもにも「あるとありがたい支援」

→ 動と静のメリハリある保育の重要性 ※なぜ、読み聞かせの前に「手遊び」をやるのか？

9. 当てにされる生活の実現 - 「サンマ (三間) の保育・教育」・知的障害のある娘の姿に学んで -



ミニネタ「まねっこジャンケン また 明日！」

<参考文献・拙書>

○ 『逆転の発想で 魔法のほめ方・叱り方』(東洋館出版社) 他

○ YouTube『簡単マジック・手遊びシアター』

本講座で取り上げた「ミニネタ」をいくつかアップしています。

今後、「ジャンケンバリエーション」や「カードゲームバリエーション」等もアップ予定。

日常の保育でご活用ください。